



ふくしまから世界へ！「ふくしまJアスリート」強化支援事業について紹介します！！



【指定証交付式の場面】



【決意表明の場面】



【Jアス・パラアスリート】

去る6月に、ふくしまから世界へ!!「ふくしまJアスリート」強化支援事業及びふくしまパラアスリート支援事業合同スタートダッシュミーティングが開催されました。Jアスリートとは、現在日本のトップレベルで活躍している21歳以上の選手「Jクラスアスリート」や、将来日本のトップレベルでの活躍が期待される15歳～20歳以下の選手「夢アスリート」を総称した名称です。いずれも福島県出身または県内の中学・高等学校に在籍する(した)選手など、本県にゆかりのある87名のアスリートが選ばれました。

指定証交付式では、選手を代表して夢アスリートの野矢育夢選手(水泳競技)が須佐喜夫会長より指定証を受け取り、決意表明では、Jクラスアスリートの青木沙弥佳選手(陸上競技)とパラアスリートの半谷静香選手(視覚障がい者柔道競技)が、力強い言葉で今年度の活躍を誓いました。

講演では、2004年アテネオリンピック体操競技金メダリストの富田洋之氏をお招きし、「栄光『金メダル』への道」のタイトルのもと、本番でベストパフォーマンスを発揮するための準備や心構え、練習への取り組み方など、実体験をもとにしたお話をしていただき、選手たちも自身の競技力向上に活かそうとメモを取りながら真剣に耳を傾けていました。

また、講義では、東海大学体育学部講師の宍戸渉氏に「競技力向上のためのスポーツメンタルトレーニング基礎編」を実施していただき、効果的な目標設定の立て方や、日々の練習や大会本番で実践できるメンタルトレーニングの方法について学びました。

選手の皆さんは、講演や講義を通して学んだことを自身の競技に活かしていただき、自分自身やチームの目標達成に向けて頑張ってください。県民の皆様にも勇気や感動を与えられるような活躍を期待し、今年度も全力で支援していききたいと思います。



【交流を深める場面】



【講演する富田氏】



【真剣に学ぶ選手たち】



【講義する宍戸氏】

「トップコーチ養成事業」基礎研修Ⅱ

強化支援事業の一環として、本協会ではアスリートだけではなく、日本のトップアスリートを育成するトップコーチの養成にも取り組んでいます。6月に行われた基礎研修Ⅱでは、講師に筑波大学客員教授の勝田隆氏をお招きして、「みる」を「みる」～コーチング再考～を演題にお話をいただきました。トップコーチ指定の指導者の方々は、コーチングの知識を深めようと真剣に研修に取り組み、多くを吸収されたようです。感想からは、「視点・視野・視覚を用いて多面的に選手を観察し、いかに選手の能力を引き出すかを見つめ直すことができた。ふくしまから世界に羽ばたく選手を一人でも多く輩出できるよう全力で取り組んでいきたい」といった力強い抱負が述べられていました。



〔講演する勝田氏〕



〔トップコーチ指導者〕



〔熱心に研修する様子〕

メディカルチェックを実施しています！

7月からは、Jアスリートを対象にメディカルチェックを実施しています。本事業も強化支援事業の重要な一つであり、選手自身が医学的な観点から自己を見つめ直し、競技力向上に繋げていくことをねらいとしています。前期は、7月～9月にかけて17名の選手が行い、後期も併せて約50名のJアスリートに実施されます。本協会の医・科学委員会委員長、堀川哲男先生の御協力のもと、藤田総合病院で5つの項目について、専門的・多面的に診断します。項目は以下の通りです。

- ・ 整形外科的メディカルチェック（アライメントチェック等）
- ・ コントロールテスト（シングルレッグジャンプテスト等）
- ・ 内科的メディカルチェック（血液検査等）
- ・ 栄養チェック・栄養相談（栄養管理士による）
- ・ アンチ・ドーピング研修



〔診断結果を真剣に聞く様子〕

メディカルチェックに参加した選手の感想からは、「自分の体についてより詳しくわかり良かった。」「毎年実施するなかで自身の身体の変化について把握できるから嬉しい」「トレーニングだけでなく、普段の食事や栄養についても意識が高まった」「地元ふくしまのメディカルチェックを受けられて嬉しい。ふくしまのためにも頑張りたいと思うし、これからは様々なサポートに取り組んでいただけたら励みになる」などといったコメントをいただきました。



〔メディカルチェックを受ける様子〕